



学力の源泉 「学びに向かう力」の育成 —考える子—

あけましておめでとうございます。

各ご家庭におかれましては、幸多き新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。旧年中は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、2学期の終業式、子どもたちに「一年の計は元旦にあり」ということわざについて話をしました。新年を迎えるにあたり、今年1年の目標を決めて計画的に取り組むことで、学校生活や家庭生活が充実したものになることを実感させるためです。

本校では「学びに向かう力」を育成するため学習単元を計画するにあたり、単元のゴールで「相手」と「目標」を設定しています。例えば、1年生の国語科で「じどう車くらべ」という教材があります。この教材を活用して子どもたちに下記の学力を付けることを目的の一つにして授業を行いました。

・「問い」や「答え」に着目しながら内容の大体を捉えて読んだり、文書中の重要な語や文を選んで書いたりして事柄の順序に沿って簡単な構成を考える力を付ける。(思考・判断・表現)

この力を付けるために11時間の学習計画を立てて、最後に2年生の子どもを「相手」にオリジナルの自動車図鑑を作って紹介するという「目標」を設定して授業を進めました。子どもたちには学習の初めにオリジナルの自動車図鑑を作り、2年生の子どもに紹介するために「自動車博士になろう」と呼びかけて、11時間の学習活動を通して上記の力を付けていくようにしました。

1年生の子どもたちは、学級担任から知らされた学習計画に基づいて意欲的に楽しく学習を進めていました。はしご車の「仕事」と「その仕事をするためのつくり」について学習した7時間目の学習でも文章や挿絵を根拠に情報を整理して読み取り、積極的に自分の考えを発表していました。そして、はしご車のことについて理解を深めていました。ワークシートにまとめる段階でも「問い」に対する「答え」として「仕事」と「つくり」をまとめることができていました。学習の様子を観ていると、45分間、集中して学習活動に取り組んでいる姿が印象的でした。

後日、1年生の教室に行き、朝の学習で読書に取り組んでいる様子を観ました。1年生の読んでいる本を観ると、自動車に関する図鑑を読んでいる児童が多くいました。オリジナルの自動車図鑑を作るにあたり、自動車に関する情報を増やしたいという想いから読んでいるのだと推察しました。授業以外でも「どんな自動車があるのかな」「車のつくりってどうなっているのかな」と自動車のことについて調べてみたいという知的好奇心が読書活動につながっていったのでしょうか。



朝の学習の様子

「目標」を設定して教師が力を伸ばすための場づくりを行い、「努力している過程」を肯定的に評価することで、子どもたちは興味をもち、意欲的に取り組み始めることを改めて実感しました。

11時間の学習過程において、学び方や学習内容での気づきを肯定的に評価しました。結果ばかりを見て評価をしてしまうことが多いですが、「努力している過程」を肯定的に評価することは、本当に大切なことだと言えるのではないのでしょうか。

このように、「目標」をもち、教師や親が「努力している過程」を褒めていくことで、意欲的に学んでいき、学力の源泉である「学びに向かう力」を身に付けていくようになると思います。

本校では、引き続いて、「学びに向かう力」を育成するための取組を授業や学校行事を通して行っていきます。引き続いてのご理解ご協力をお願いいたします。

学校長 善村 龍昭